

グループ展 『I am here by WAITINGROOM』 開催のご案内

展覧会名：グループ展 『I am here by WAITINGROOM』

展示作家：浦川 大志／エキソニモ／小林 健太／やんツー

会場：CADAN有楽町（東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル1F）

会期：2021年8月17日（火）～ 9月5日（日）

- ・オープニングレセプションは開催致しません。
- ・会期中は、火～金 11-19時、土、日、祝 11-17時のオープンとなります。（定休日：月）
- ・社会情勢によっては、会期等が変更になる場合がございます。最新情報はウェブサイトに掲載いたします。

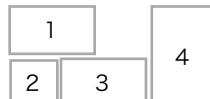
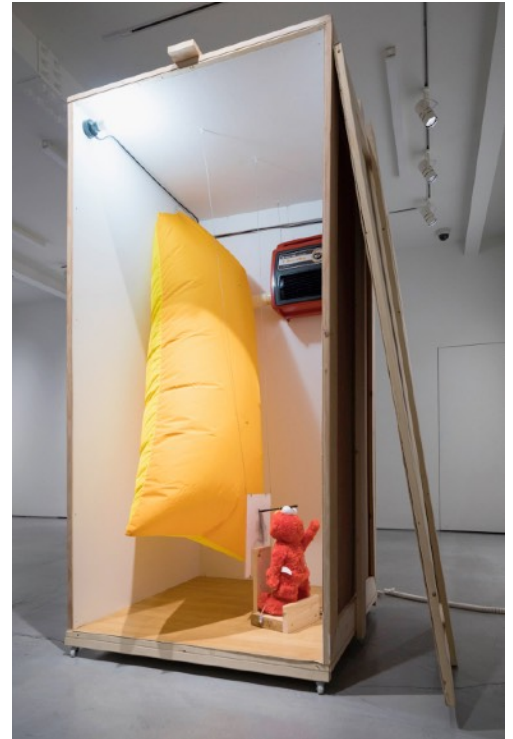
企画：WAITINGROOM

協力：rin art association

CADAN有楽町では、東京都文京区を拠点とするWAITINGROOMの企画により、2021年8月17日（火）から9月5日（日）まで、浦川大志・エキソニモ・小林健太・やんツーによるグループ展 『I am here by WAITINGROOM』 を開催いたします。東京ではほぼ初めて、NFT作品（エキソニモ）を実空間に展示し販売する試みを行います。

スマートフォンを通して取得した情報や身体感覚をもとに、デジタル的な筆致で絵画作品を制作する浦川大志。ネットワーク世界と実世界を柔軟に横断しながら、多岐に渡る活動を行うエキソニモ。撮影した写真に大胆なデジタル加工を施し、写真を軸に現代における美的感覚を示唆する小林健太。表現にまつわる様々な行為を、人間に代わり、自律型の装置が行なう作品を多く制作しているやんツー。インターネットやデジタルテクノロジーが不可分な方法で制作を行っている4名のアーティストによるグループ展です。

展覧会タイトルの『I am here』は、本展にも出品されているエキソニモによるNFT作品《Crypto Poetry》シリーズの第1作目から取られています。複製が容易であるデジタルアート作品に唯一性を担保することを可能にしたNFTをはじめ、情報通信技術の進歩は、美術はもちろんのこと、我々の日常生活にも多大な影響を与えています。コロナ渦により、オンライン空間が格段に身近になった現在においても、展覧会に足を運び、作品を目の前にする事は、バーチャルで作品を「見る」こととは全く違った感覚を思い出させるでしょう。4組それぞれの手法で現実世界に持ち込まれた作品を、ぜひ目の前で高覧ください。



- 1：浦川大志《風景（鳥）》2021年、パネルに綿布、ジェッソ、アクリル
- 2：エキソニモ《Crypto Poetry #1》2021年、NFT作品、1080 x 1080 pixels, 54 seconds (seamless loop)
- 3：小林健太《Untitled(I was here)#smudge #video》2016年、ビデオスチル
- 4：やんツー《Cargo Cult in Cargo No.2》2019年、ミクストメディア、955×990×1980 mm 共同制作：石毛健太



《鍾乳洞 (ipeg)》2021年
パネルに綿布、ジェッソ、アクリル、910 x 512 mm

浦川大志 | Taishi URAKAWA

1994年福岡県生まれ。2013年に九州産業大学芸術学部美術学科を卒業。現在は福岡県を拠点に活動中。

浦川大志は、スマートフォンを通して取得した情報や身体感覚をもとに、デジタル的な筆致を特徴とする絵画作品を制作しているアーティストです。その制作方法は、画像検索やSNSを使って集めた画像やイラストを、自身が撮影した写真と組み合わせて「風景画」として構築するというものであり、本展への出品作品も同様の方法で制作されています。

近年の展覧会に、2021年グループ展『遷移する風景♡』（福岡・東京・京都巡回展）、グループ展『まなざしのカタチ.02』（WAITINGROOM、東京）、2019年グループ展『浦川大志&名もなき実昌 二人展「終わるまで終わらないよ」』（熊本市現代美術館、熊本）、2018年グループ展『新しい平面の作家その一部コア ——梅沢和木、浦川大志、百頭たけし』（ゲンロン カオス*ラウンジ 五反田アトリエ、東京）、グループ展『VOCA展2018』（上野の森美術館、東京）にて大原美術館賞受賞、2016年個展『個展』（ギャラリーおいし、福岡）、2015年個展『現れては消えるもの』（Gallery門馬&ANNEX、北海道）などが挙げられます。



《Crypto Poetry #1》2021年
NFT作品、1080 x 1080 pixels、54 seconds (seamless loop)
*参考作品

エキソニモ | exonemo

千房けん輔と赤岩やえによるアートユニット。1996年にインターネット上で活動を開始。2000年から実空間でのインスタレーションやパフォーマンス、イベントオーガナイズ等へ活動を広げ、2015年からはニューヨークを拠点に活動中。

本展では、無限に繰り返されるQRコードを読み込むことで詩が表れるNFT作品《Crypto Poetry》シリーズを会場に展示/販売いたします。NFTでの制作・販売を積極的に取り入れた本作は、オンライン空間と現実空間を軽やかに行き来するエキソニモならではの作品といえるでしょう。本展で展示するスクエア型モニターが付随した限定バージョンは、まるでQRコードが実空間に突如出現したかのような効果をもたらします。なお、CADAN有楽町では初めてのNFT作品の販売となります。近年の展覧会として、2021年個展『エキソニモ UN-DEAD-LINK アン・デッド・リンク [インターネットアートへの再接続]』（東京都写真美術館、東京）にて令和2年度（第71回）芸術選奨 美術部門 文部科学大臣新人賞を受賞、2019年グループ展『あいちトリエンナーレ2019』（愛知県美術館、愛知）、2018年グループ展『ハロー・ワールド ポスト・ヒューマン時代に向けて』（水戸美術館、茨城）、『メディアアートの輪廻転生』（山口情報芸術センター[YCAM]、山口）などが挙げられます。2021年には、大林財団の助成制度「都市のヴィジョン - Obayashi Foundation Research Program」第3回のアーティストに選出されました。



《New York City #smudge #video》2016年
ビデオスチル

小林健太 | Kenta COBAYASHI

1992年神奈川県生まれ。2016年に東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻領域を卒業。現在は東京都と湘南を拠点に活動中。

本展では、代表的な写真作品と同様に、大胆なデジタル加工が施され、画面を大きく歪める手法で制作された、映像作品を発表します。

近年の展覧会に、2021年グループ展『まなざしのカタチ.02』（WAITINGROOM、東京）、2020年個展『Live in Fluctuations』（Little Big Man Gallery、アメリカ）、2019年個展『The Magician's Nephew』（rin art association、群馬）、2018年グループ展『ハロー・ワールド ポスト・ヒューマン時代に向けて』（水戸芸術館、茨城）、2017年個展『自動車昆虫論／美とはなにか』（G/P gallery、東京）、2016年グループ展『GIVE ME YESTERDAY』（フォンダンツィーネ・ブラダ・ミラン・オッサヴァトリオ、ミラノ・イタリア）などが挙げられます。2019年には、マーク・ウェストン率いるダンヒル、2020年春夏コレクションとのコラボレーション、またヴァージル・アブロー率いるルイ・ヴィトン、メンズ秋冬コレクション2019のキャンペーンイメージを手がけました。2021年9月にANBTokyo（六本木）にて個展「#smudge」を開催予定。

やんツー | yang02



《不可視の知のためのスケッチ No.6》2021年
紙、インク、フレーム、520x404mm

1984年神奈川県生まれ。2009年に多摩美術大学大学院デザイン専攻情報デザイン研究領域を修了。京都精華大学教員。

表現する主体として自律的に振る舞う自作のドローイング装置を多く制作しているやんツーは、本展においても、過剰に神格化された「作家」という存在や、表現の主体性を問うような装置とドローイング作品を展示いたします。

近年の展覧会に、2019年個展『_prayground』（rin art association、群馬）、グループ展『Art Meets 06 門馬美喜／やんツー』（アーツ前橋、群馬）、2018年グループ展「第20回 DOMANI・明日展」（国立新美術館、東京）、2017年グループ展「Vanishing Mesh」（山口情報芸術センター[YCAM]、山口）、2016年個展「Examples」（CLEAR EDITION & GALLERY、東京）、グループ展「あいちトリエンナーレ2016」（愛知県美術館、愛知）などが挙げられます。2013年、文化庁新進芸術家海外研修制度により、バルセロナとベルリンに滞在。2011年、第15回文化庁メディア芸術祭 アート部門にて新人賞を受賞。2018年には、第21回文化庁メディア芸術祭 アート部門にて優秀賞を受賞しています。（共に菅野創との共作）
協力：rin art association

※本展に関するお問い合わせは、下記連絡先までお願いいたします。

WAITINGROOM（代表：芦川朋子）

住所：〒112-0005 東京都文京区水道2-14-2 長島ビル 1F

営業時間：水木金土 12-19時・日 12-17時

定休日：月火祝

Tel：03-6304-1877 Eメール：info@waitingroom.jp

Web：http://waitingroom.jp

※本展開催・会期についての注記

新型コロナウイルス感染拡大に関連する社会情勢によっては、会期等が変更になる可能性がございます。最新情報は、CADAN有楽町及びWAITINGROOMのウェブサイト、各SNSにて随時配信して参りますので、そちらを合わせてご確認頂けましたら幸いです。